

どうする？ 市民活動の次の担い手 ～活動が長く続いていくために～

2022.12.13

佐久市市民活動サポートセンター



市民活動とは？

誰かの「やりたい」と
みんなの「共感」と「参加」が
ベースの活動

市民活動とは？

趣味のサークル・集りなど

ボランティア団体
(任意団体)・
NPO法人(NGO)
一般社団・財団法人・社会福祉法人
など

＜地縁団体＞

PTA・
住民自治協議会・
福祉推進員・
食生活改善推進
委員・消防団
など

市民活動の成長

個人の思いによる活動(パッション)から組織的・継続的な活動(ミッション)へ

P

パーソナル
個人

- ・個人のボランティア
- ・個人の責任(自由)

G

グループ

- ・グループで活動
- ・チームワーク

O

オーガニ
ゼーション
・組織

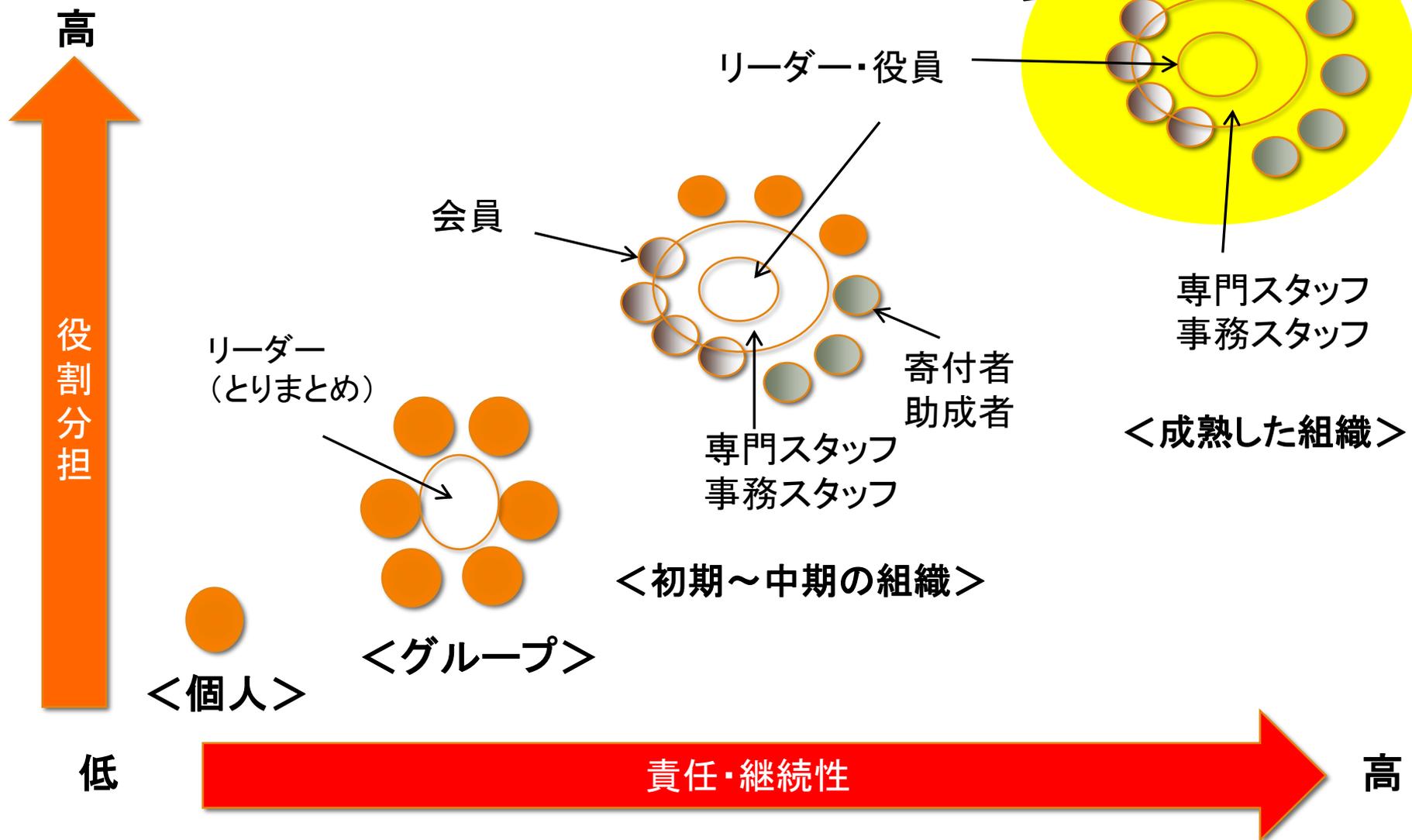
- ・組織として活動
- ・規約と役割の分担

C

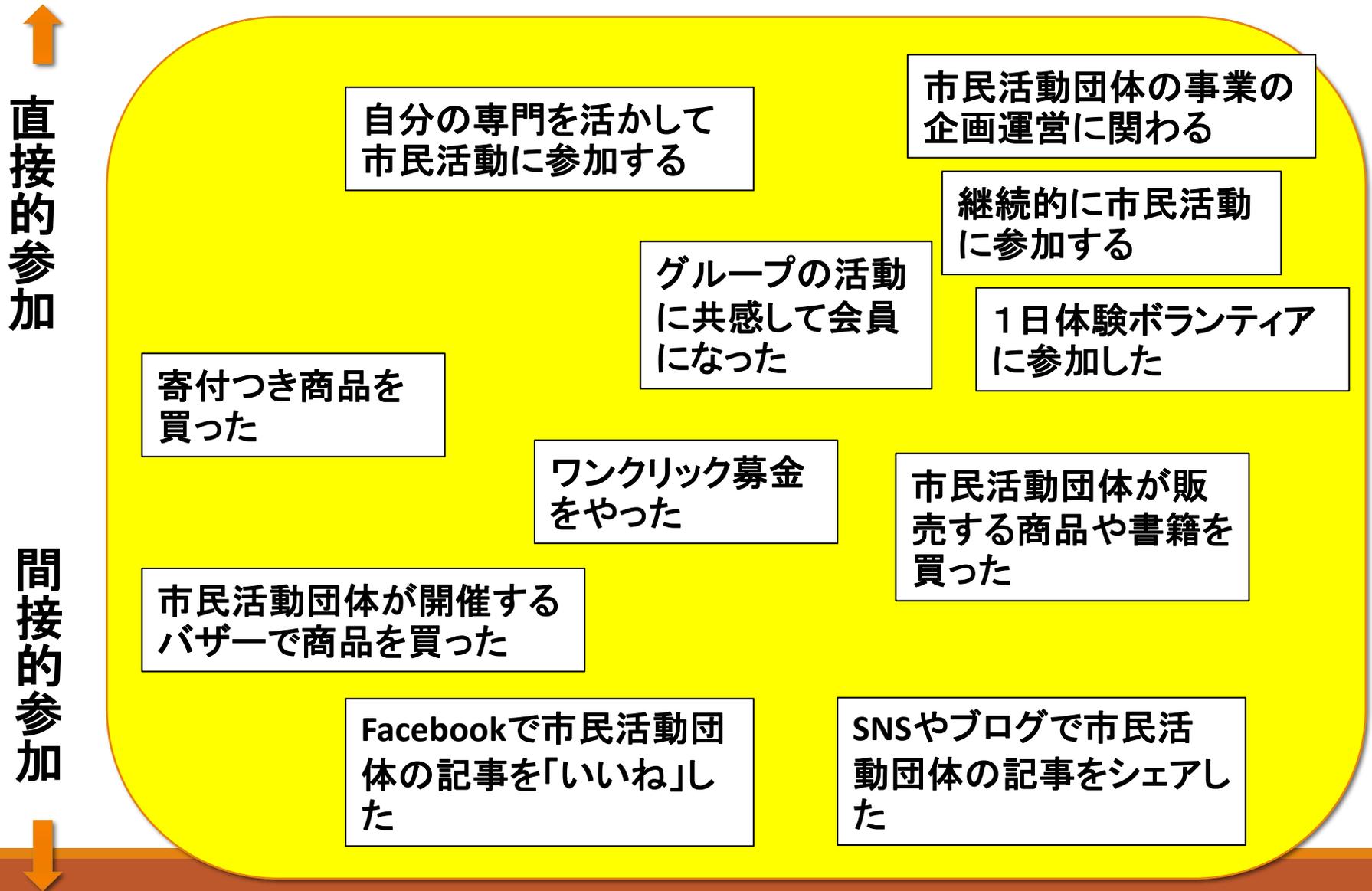
コーポレ
ーション
・法人

- ・法人として活動
- ・契約、財産、雇用

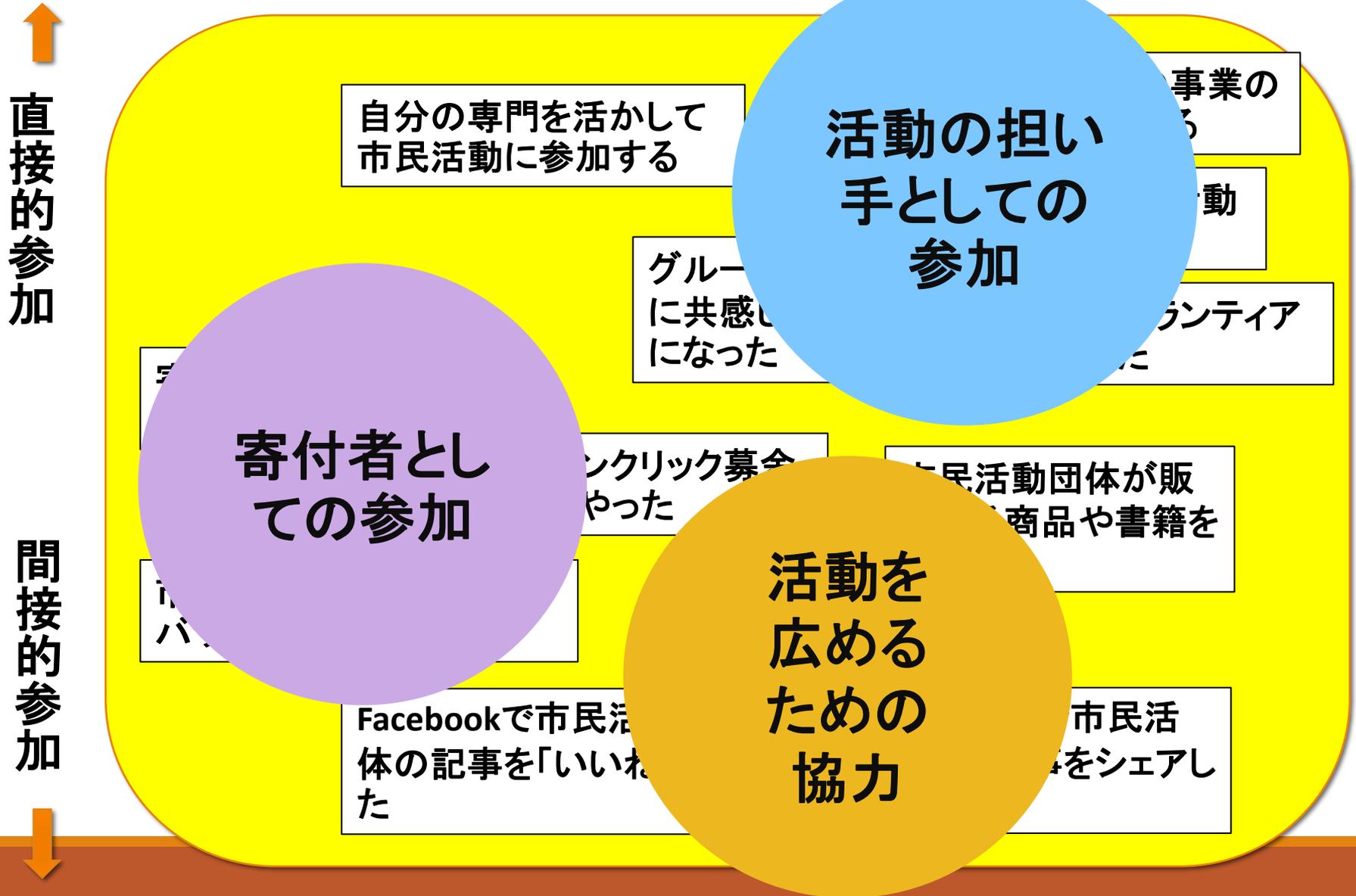
市民活動の成長



市民活動へのさまざまな参加の方法



市民活動へのさまざまな参加の方法



市民活動・NPOのリーダー交代の例

- 副代表（副会長）から代表（副代表）へ
- 事務局長から代表（会長）へ
- 理事から代表（会長）へ

ボランティア団体やNPOにおいて、関わりのない人が代表を引き継ぐことはほとんどありません。

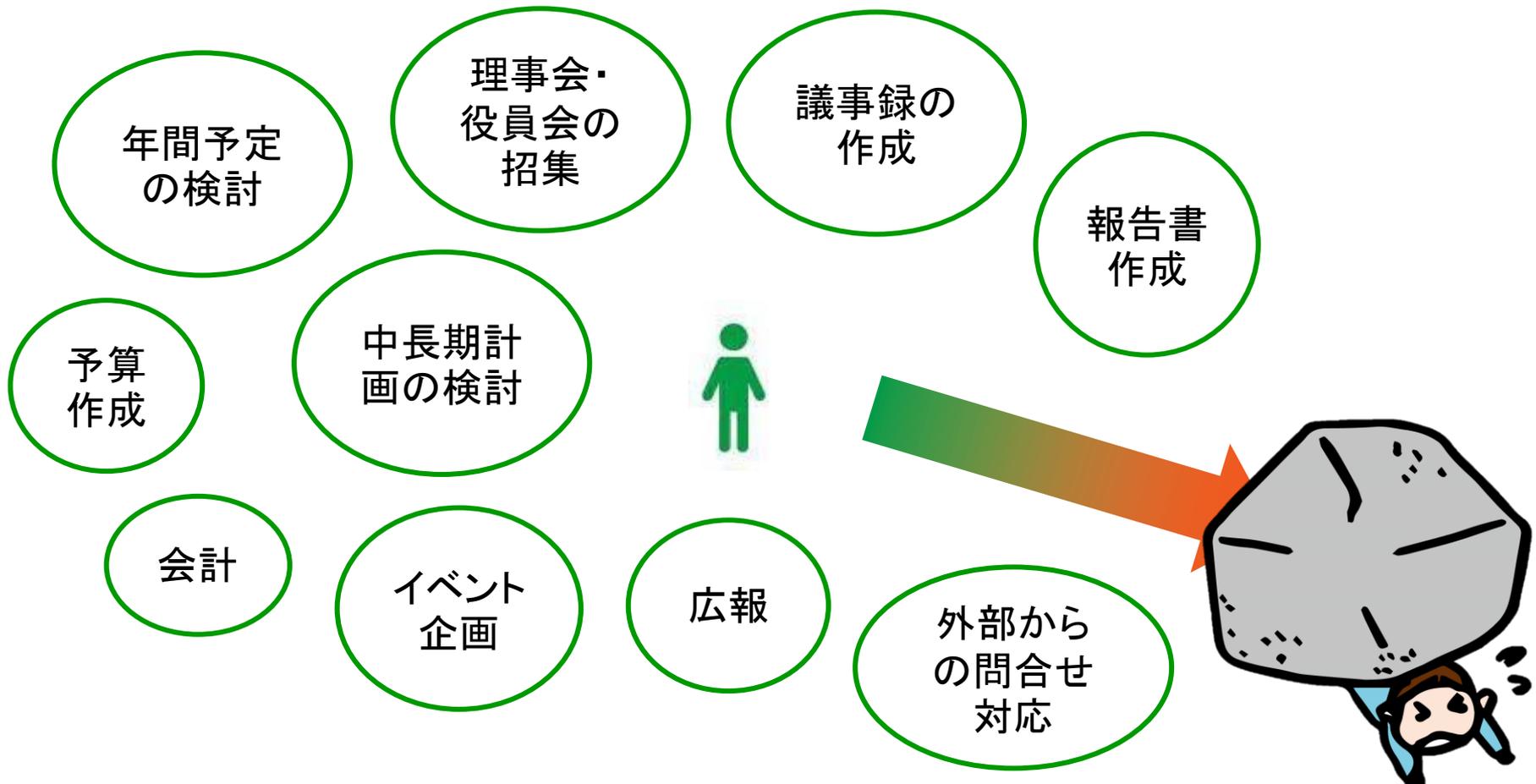
多くの場合、代表に近いところで関わってきた人に代表を引き継いでいます。

今、活動に関わっている人の中から、次の代表となる担い手を探す、バトンを手渡すことが大切です。

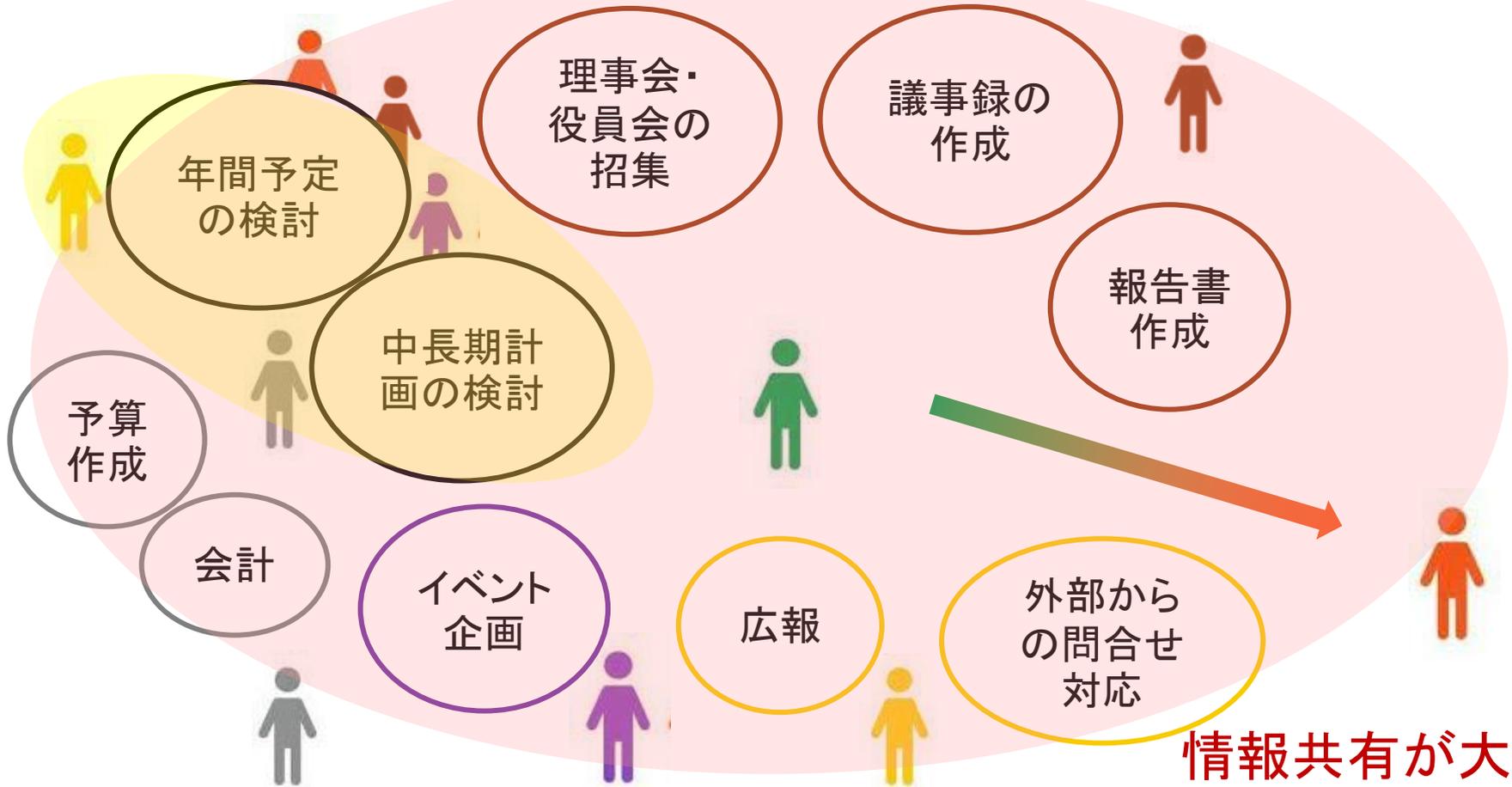
次のリーダーにバトンを渡すための問い

1. 今、代表が担っている役割は何ですか？
代表の役割を整理する
2. 活動について、誰がどう決めていますか？
意思決定のやり方を見直す
3. 活動にどんな人が関わっていますか？
活動に関わっている人を認識する
4. 活動に新しい人が参画する機会がありますか？
参加の入り口を広げる
5. 何のために活動するのかを共有できる人はいますか？
団体の目的を共有する

1. 代表の役割を整理する



1. 代表の役割を整理する



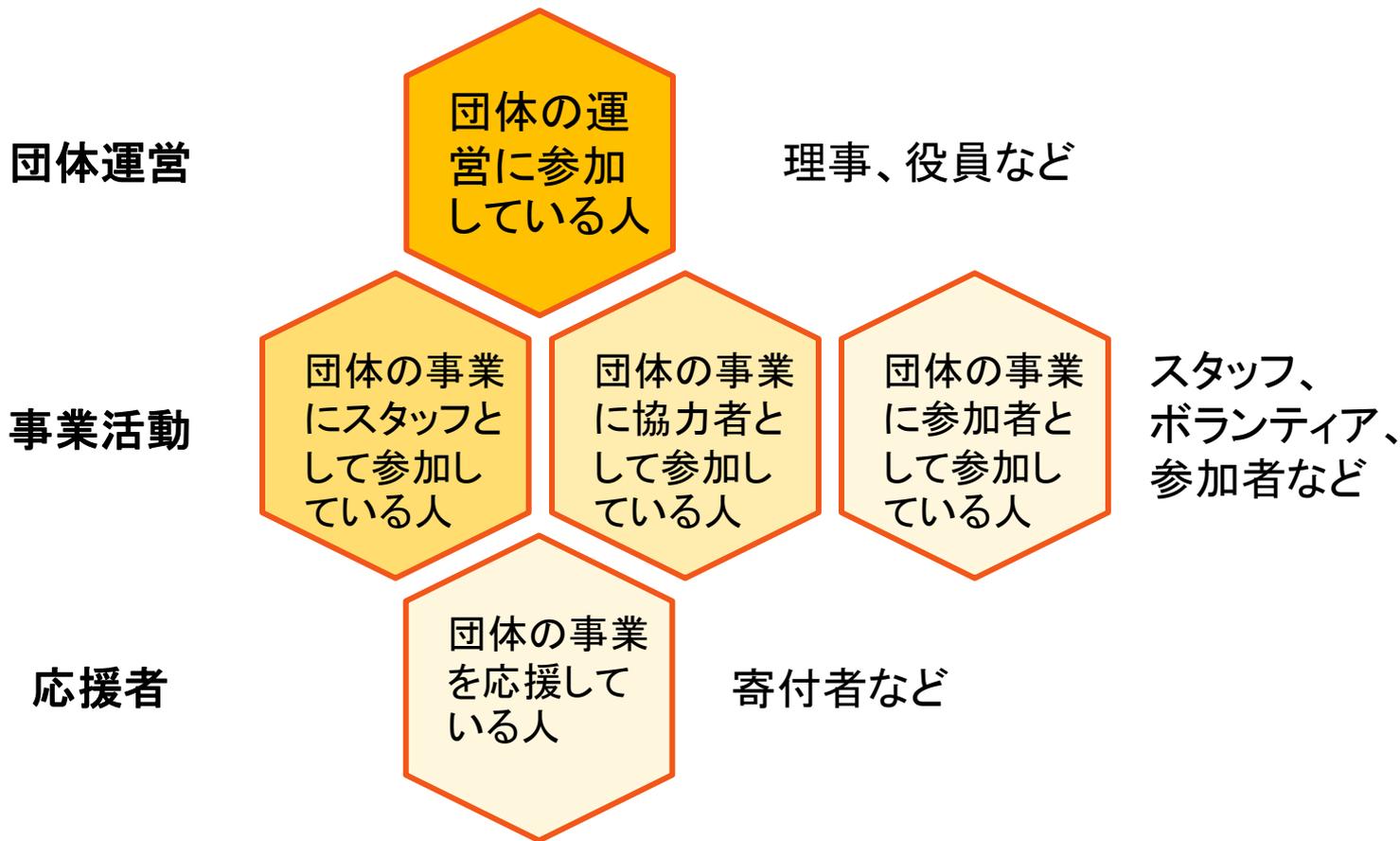
2. 意思決定のやり方を見直す

- 予算、事業計画、イベント企画...
- 「ひとりで決める」範囲をなるべく減らす
- 何かを決める時に、他の人の意見を聞く

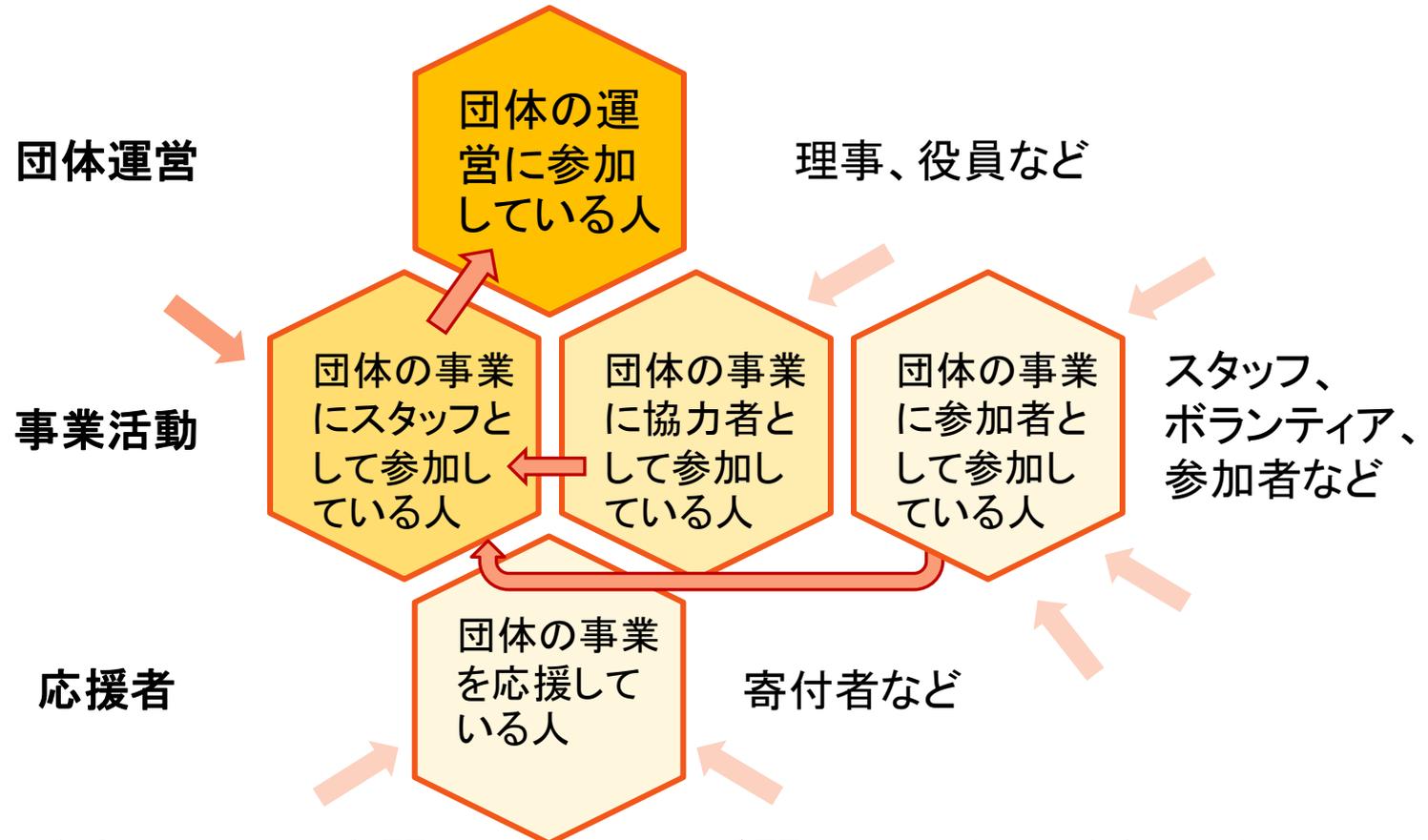


他の人たちが意見をいやすい場づくりが大事！

3. 活動に関わっている人を認識する



4. 参加の入り口を広げる



参加の入り口を開いて、入り口が開いていることを伝える

5. 団体の目的を共有する

- 団体の目的(ビジョン・ミッション)を言語化しておく
ホームページ、SNSの概要欄などに載せて、内外から見られるようにしておく
- 活動に関わる中心的なメンバーと、目的について話し合う機会を持つ
みんなのビジョン・ミッションにしていく

時代の変化に対応する

- 運営体制の見直し:

 - 市民活動の担い手をめぐる社会構造の変化

 - ▽定年退職年齢の引き上げ

 - ▽現役世代の経済的、時間的余裕の少なさ

 - 活動の内容、頻度、やり方の見直し

- 事業の見直し: 受益者(活動を必要とする人)のニーズに合っているか?

 - ▽アンケート等を通じて声を聴く

団体を続けられない場合... 「活動・事業」を引き継ぐ

- 事業継承の可能性について相談してみる
 - ▽ 事業を通して関わりがある団体・機関
 - ▽ 地域で類似事業を行っている団体・機関
 - ▽ 他に事業に共感してくれそうな団体・機関
- 個人情報提供はNG！（例：会員情報など）
 - ▽ 元の団体から、会員に対して「事業を〇〇団体に移管します。継続したい人は〇〇団体事務局に連絡してください」などの連絡を行うことが望ましいです。
 - ▽ 協力機関の窓口の担当者など、キーパーソン「人脈」の引継ぎは丁寧に

団体・活動を「閉じる」場合...

- 残余財産の処分（固定資産、現預金など）
- これまでの協力者に団体・活動をやめることを伝える（例：メンバー／寄付者／関係窓口／公民館、社会福祉協議会、市民活動サポートセンター等）
- 団体ホームページ・SNSなどで、活動終了の旨を知らせる（一定期間）
- NPOなど法人格をもっている団体の場合は、別途手続きが必要（一部手続きに費用が必要）

NPO法人の解散

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyodo-npo/kyodo/npokaisan.html>



[ホーム](#) > [暮らし・環境](#) > [県民協働・NPO](#) > [NPO情報コーナー](#) > NPO法人の解散について

更新日：2022年6月23日

NPO法人の解散について

NPO法人の解散とは、法人としての通常の権利能力を消滅させる事実を指し、一般に、法人がその目的である本来の活動をやめて、財産関係の清算をする状態に入ることを行います。したがって、解散したからといって直ちにNPO法人としての責任がなくなるわけではありません。



解散の事由～最初に検討すること

NPO情報コーナー

[助成金情報](#)

[NPO関連情報誌](#)

[県内の認定（特例認定）
NPO法人の公示](#)

[NPO法人設立認証状況一覧](#)

[事業報告書等について](#)

[事業報告書等の記載例とチェック表](#)

[県のNPO相談窓口一覧](#)



長野県 AI
チャットボットで調べ